



平成 16 年 10 月 19 日

各 位

会 社 名 株式会社 フェローテック
代表者名 代表取締役社長 山村 章
(登録銘柄コード番号 6890)

平成 17 年 3 月期 中間期および通期の業績予想の修正について

平成 16 年 5 月 21 日に公表した平成 17 年 3 月期(平成 16 年 4 月 1 日～平成 17 年 3 月 31 日)の中間及び通期の業績予想を下記のとおり修正いたしますのでお知らせいたします。

記

1. 連結業績予想の修正

当中間期の業績予想数値の修正(平成 16 年 4 月 1 日～平成 16 年 9 月 30 日)

	売 上 高	営業利益	経常利益	中間純利益
前回発表予想(A)	9,500	730	540	200
今回修正予想(B)	11,000	990	810	364
増減額(B - A)	1,500	260	270	164
増減率(%)	15.8%	35.6%	50.0%	82.0%
(ご参考) 前中間期実績	6,824	16	267	499

(金額の単位:百万円)

当期の連結業績予想数値の修正(平成 16 年 4 月 1 日～平成 17 年 3 月 31 日)

	売 上 高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	20,000	1,200	850	350
今回修正予想(B)	21,500	1,457	1,120	514
増減額(B - A)	1,500	257	270	164
増減率(%)	7.5%	21.4%	31.7%	46.8%
(ご参考) 前期実績	15,000	615	177	645

(金額の単位:百万円)

2. 連結業績予想修正の理由

当中間期の連結売上高は、好調な半導体製造装置産業および液晶・PDP 製造装置産業に牽引され装置関連事業を中心に売上計画を上回る見込となりました。また、電子デバイス事業や CMS(受託生産)事業も順調に推移してまいりました。利益面では、中国への生産移管が一巡し生産歩留が向上した結果、営業利益は計画を上回る予定です。また、為替動向が比較的安定しておりましたので経常利益および当期純利益の業績予想を修正するものです。

通期の見通しに関しましては、中間期予想を修正したことに伴い売上高および経常利益ならびに当期純利益の通期業績予想をそれぞれ修正いたします。

3. 個別業績予想の修正

当中間期の業績予想数値の修正（平成 16 年 4 月 1 日～平成 16 年 9 月 30 日）

	売 上 高	営業利益	経常利益	中間純利益
前回発表予想(A)	4,430	100	90	20
今回修正予想(B)	4,620	250	280	75
増減額(B - A)	190	150	190	55
増減率(%)	4.3%	150.0%	211.1%	275.0%
(ご参考) 前中間期実績	3,265	11	13	96

(金額の単位：百万円)

当期の個別業績予想数値の修正（平成 16 年 4 月 1 日～平成 17 年 3 月 31 日）

	売 上 高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	8,820	160	400	170
今回修正予想(B)	9,010	310	580	225
増減額(B - A)	190	150	180	55
増減率(%)	2.2%	93.8%	45.0%	32.4%
(ご参考) 前期実績	7,398	105	177	18

(金額の単位：百万円)

4. 個別業績予想修正の理由

当中間期の個別売上高は、好調な装置関連事業に加え、主力の HDD 用部品であるコンピュータシールおよび自動車温調シート向けサーモモジュールなどの電子デバイス事業の販売が計画より上回る見込みです。利益面では、売上増加に伴い売上総利益が伸長し、一方で販売管理費などの削減努力により営業利益は計画を上回る見込みです。その結果、経常利益および当期純利益の業績予想を修正するものです。

通期の見通しに関しましては、中間期予想を修正したことに伴い売上高および経常利益ならびに当期純利益の通期業績予想をそれぞれ修正いたします。

(注) 上記の予想は本資料発表日現在において入手可能な情報に基づいており、実際の業績は、今後様々な要因により予想数値と異なる場合があります。

また、上記の業績予想数値は、連結および個別共に未監査であります。

以 上

問合せ先 総務部長 若木啓男
(TEL . 03 - 3281 - 8186)